

「4世代の元気事業」を報告

北九州で久留米のNPO



分科会で活動を紹介する横道さん＝北九州市小倉北区の北九州国際会議場

高齢者が活躍できる社会づくりをテーマにした「生涯現役夢追いサミット」が23日、北九州市小倉北区であり、分科会で久留米市のNPO法人「城南健康ふれあい倶楽部」の横道正克理事長(62)が日ごろの活動を紹介した。

分科会には地域おこしなどに取り組むシニア世代の37団体が県内外から参加した。

横道さんは、団塊世代を核に親、子、孫の「4世代の元気事業」と題したパネルを使って説明。軽運動の健康教室や、大人や小学生を対象とした認知症予防セミナーなどを通じ「4世代

交流の場を広げていきたい」と話した。終了後はパネルの周りに集まった参加者と情報交換していた。

ふれあい倶楽部は2011年に活動を開始。12年1月にNPO法人になった。

(遠山武)